

9月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



9/12 オンライン隊集会。今回のテーマは「じしゃく」。磁石にくっつくものを家の中で探したり、水に浮かせてみたり、磁石を使って遊びました。まずは、チョコレートやりんご、コップに鉄のねじ、ビー玉、本、クリップなどを集めてきて、どれが磁石にくっつくか調べてみました。想像通り〜と喜び姿がありました。それから磁石を容器にのせて水に浮かせてみました。不思議なことにいつも同じ方向を向いて止まるんだよね。その時にコンパスの話をして、お家の中での北がどちらか、今どっちを向いているのかが分かりました。次に縫い針を浮かべてみました。浮かべるだけだと動かないけど、磁石でこすってみると磁石と同じように同じ方向に向いてとまることに気がつきました。そのあとは紙の上に書かれた迷路のコースを裏から磁石で操作したクリップを進めてみたり、磁石にいろんなものをぶら下げてみたり、紙に置いた砂鉄を動かしてみたり・・・スカウトが思いついた遊びを紹介しあいました。またこの日は2名のスカウトが新しく中野8団のメンバーになりました。オンラインでの入隊式でしたが、元気に宣誓が行われました！！



9/26 オンライン隊集会 「スカウトの日」のプログラム

として高尾山に登ってごみ拾いの予定でしたが、緊急事態宣言の延長により、お家の近くの公園などのごみ拾いをベースにした隊集会をしました。まずはセレモニー。今回もなんと入隊者が。「やくそく」と「きまり」の宣誓をした新しい仲間が増えました！そのあと、各家庭ごとに近所の公園（またはお家の周辺）のごみ拾いと秋探しをする内容で30分程度画面から離れました。空き缶やタバコの吸い殻、お弁当容器、おにぎりのラッピングなどきれいに見えていた公園にも意識するといろいろなごみが落ちていることに気が付きました。そのあとは、ごみの分別に関するクイズやリサイクルマークなどの記号探しをしました。



ごみ拾いと一緒におもいで探しをしました。カラフルな落ち葉や木の実などを見つけたよって声がたくさん上がりました。

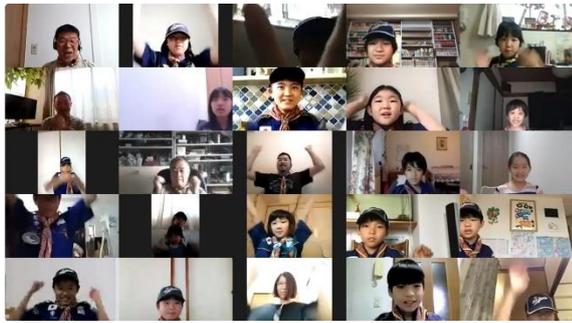


カブ(CS)隊



9/6 オンライン組集会
スカウトの日(9/20)を控えて、恒例の環境プログラム月間の始まりです。今年は、キリンコラボプロジェクト2021として提供される環境マークプログラムに取り組みます。24の環境マークを探してノートに付けて、リサイクル、森林、エネルギー、食品、生物、交通輸送などを通じて環境を学ぶプログラムです。キリンさんからは、マークノート、はっけん手帳やエコパンダシールを提供頂きました。





第1回の組集会は、ゲスト参加で参加してくれたお友達と一緒に、歌で遊ぼうコーナー、ロープに慣れようコーナーのあと、ボーイスカウトの環境に対する取り組みとして、SDGsや新環境プログラム Earth Tribe の紹介をして、家の中にある環境マークゲームを探しました。

9/12 オンライン組集会 キリンコラボプロジェクト2021。環境マークプログラムに取り組み始めて2回目の組集会。いつもの歌とロー

プ結びを楽しんだあと、24の環境マークを探す取り組みをブレイクアウトルームで組ごとに分かれてチェックしました。組長から発表があり、14個のマークをゲットしたスカウトが途中経過の1番でした。おなじみのPETやプラマーク、FSCなどや、Rマーク、植物油インキマーク、バイオマスマーク、クールチョイスマーク、エコレールマークなどレアなマークを見つけたスカウトも！カエルが描かれたレインフォレスト・アライアンス認証マークも、キリンの午後の紅茶で見つけました。後半は、SDGsについて考えた先回に続き、組ごとに、ごみを減らすには？自然をまもるには？の2点については、ぼくたち/わたしたちが出来る事はなしあって、発表しました。



9/19 オンラインくまキャンプ 1日目 当初7月に予定されていたくまキャンプ。緊急事態宣言のため9月に延期しましたが宣言延長により叶わず、致し方なくオンラインで実施としました。テーマも“大自然に飛び出せ！”から、“大自然に飛び出す前にそなえよ！”に。



ボーイ隊に上進する前に経験して欲しいキャンプスキルがプログラムに織り込まれています。朝オンライン集合した後、自宅で保護者の方にご協力頂いてテント設営/調理をすることになりました。テントはソロキャンプ用に前日貸出し。各ご家庭により状況は異なりますが、部屋の中/ベランダ/屋上で、調理は手間なく調理体験が出来るよう、ダイソー製品で、メスティン/五徳/固形燃料の3点セットを用意して、オンラインで指導できる範囲の簡単調理でしたが、おやつとしてのバナナケーキ、夕食としてのシーチキン炊き込みご飯は大好評！スカウトスキルとして、ロープ結びや八方位について、キャンプ/ハイキングの心得などもみんなで考えながら学びました。夜はオンラインで歌って踊って一人ずつ夜話を披露してキャンプファイヤーを楽しみました。昨年もキャンプは中止だったので初めてのキャンプファイヤーというスカ



ウトもいました。

9/20 オンラインくまキャンプ2日目 前夜のキャンプファイヤー後、屋上キャンパー一人、ベランダキャンパー二人、お部屋キャンパー一人。快適だったり、寒かったり、兄弟姉妹と寝たり

とそれぞれのキャンプを楽しんだようです。翌朝は秋晴れ！まずは集合して朝ご飯づくり。クラッカーを使ったベーコンエッグパイの作り方をメモして、自分の事は自分で責任を持って調理に挑んで、ほぼそこそこ美味しくいただきました。その後朝礼、カブスアウンを実施のあと、予定を変更して前



日終わらなかったセッションの、救急、計測、暮らしのマナーに取組みました。最後に撤営として、フライシートからポール、グランドシート、テント本体の順でしまい、セッション終了。24時間ちょっとのオンラインキャンプでしたが、カブブック課目、チャレンジ

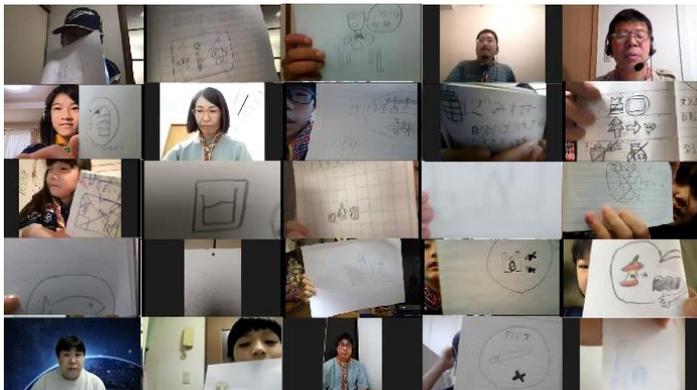


章の成果もあり、最後の閉所式では感謝の心構えも聞いて、カブの最後の年のくまスカウトとしてちょっとだけたくましく成長したように見えました！準備にご協力いただいたリーダーと、保護者の皆様、ご協力ありがとうございました！

9/26 オンライン隊集会 環境マークプログラムとスカウトの日プログラムをからめて、干潟を守る環境保全ハイキングを予定していましたが、緊急事態宣言延長により残念ながら中止になりました。代替りのオンライン隊集会として、各自で近所の公園をクリーンアップするミニハイキングを企画しました。ゴミと秋を一緒に見つけるハイキング。オンライン集会が続く中、今日入隊式を終えたスカウトと一緒に、家族毎にスカウトの日ハイキングへ。30分くらいの短い時間でしたが、みんな帰ってきてから、楽しそうに報告してくれました。



後半戦は、環境マークプログラムの締めくくりとして、組ごとにワークを実施。今回の環境マークプログラムで24種類のマークを知りましたが、自分が気になる/守りたいテーマの自分だけの“わたしの環境マーク”作りをしました。東京オリンピックのピクトグラムなども参考に創作を楽し



しました。また環境プログラムを体験して気づいたこと、感じたことなどを話し合い、まとめて組ごとに発表しました。みんな個性的なマークを創ってくれて、想いが伝わってきたし、プログラムを実施したことで地球の環境を守ることにについて、いっぱい考えてくれるようになったし、24個すべて見つけたスカウトをはじめ、環境への意識がとても高くなった9月でした。来年の干潟の環境保全/観察ハイキングを楽しみに！

ボーイ(BS)隊



9/5 オンラインで班会議をしました。覚えることが難しく、修得に時間のかかる手旗信号の練習を行いました。自分から10文字程度のメッセージを発信することはもちろん、相手が送ってくるメッセージを解読するためには、繰返しの練習が大切！

9/19 オンラインキャンプを行いました。午前中は技能訓練ラリーを実施し、手旗信号の解読、ハイキングで役立つ追跡記号、野外で何度も使用する簡易計測の技術を修得しました。夜にはオンラインでキャンプファイヤを行い、いつもの技能訓練とは異なるゲーム集会を行いました。

ベンチャー(VS)隊



9/6-7 東京連盟連盟 VS フォーラムがオンラインで開催され、あすなろ地区代表としてSくんが参加しました。中野8団では、O樹現BS隊長(2014年)以来になります。

◆ベンチャーフォーラムテーマ：「わたしたちにできる社会貢献とは」

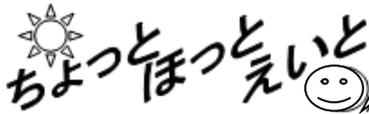
サブテーマ：「地域で考えるSDGs」「第18回日本スカウトジャンボリーでできること」

9/5 BS隊班集會に1名のスカウトが参加し、主に手旗訓練のサポートをしました。

9/10 ベンチャー隊1on1を実施し、Sくんが隊長へ東京連盟VSフォーラムの報告を行いました。参加した感想として、『①初対面の人と意見交換する難しさを実感した②SDGsや社会貢献を日頃から意識する大切さを知った③フォーラム参加を契機に、オンライン環境を整備してくれた家族へ感謝』をあげていました。

9/19 BS隊で行われたオンラインキャンプに2名のスカウトが奉仕、参加しました。

9/26 10月に行われるあすなろ地区技能章講習会に向けて、オンラインで事前集會が開催され、Mくんが参加しました。今回行われる内容は、大型構造物の一つである「信号塔」制作です。いよいよ、隼スカウト章へチャレンジがスタートです。



活動で見つけた
ほのぼの話

9月でコロナ感染拡大防止の緊急事態宣言が全面的に解除され、やっと対面での活動が再開しました！街中にも少しづつ活気が戻ってきているように感じます。宿泊キャンプも解禁になりました。しかしこれまでとは少し様子が違い、感染拡大防止対応が今後も継続されます。キャンプでのテントは「ソロテント利用」。つまりテントは1人で建て、1人で寝ることが標準になりそうです。これまではベンチャースカウト以上が利用していたソロテントですが、新しいキャンプスタイルになりそうです。ハイキングもいい季節に再開できるようになりました。ボーイスカウト活動の根幹である野外活動がやっと戻ってきました。7月の体験会以来、なかなか進まなかったゲスト参加も再開し、これから仲間が増えていくことも期待できそうです。



リーダーの活動

- 9/2 地区円卓会議
- 9/4 Earth Tribe 新環境教育プログラム説明会
- 9/4 WB 研修所外コース所員会議
- 9/5 団会議
- 9/11 CS プログラム会議
- 9/11 CS ハイキング下見
- 9/13 地区委員会
- 9/14 10周年実行委員会
- 9/21 地区コミッション会議
- 9/30 地区パインウッドダービー担当者会議
- 9/30

- * 活動の写真は団の Google Drive で共有しています。ご希望の方は各隊隊長にご自身の Google アカウントをご連絡ください(Google アカウントをお持ちでなくご希望の方はアカウントを作成ください。無料で簡単に作成できます)。
- * Facebook ページで活動の様子を報告しています。アカウントがなくても閲覧いただけます。
<https://www.facebook.com/nakano8/>

スカウト豆知識

「活動の特徴」

スカウト活動では、年齢に応じていくつかの部門に分かれています。「スカウト運動の始まり」で紹介した最初に活動を始めた少年達は、ローティーン、つまり現在のボーイ隊の年代にあたります。スカウト活動全体を「ボーイスカウト」と呼び、部門の名前が「ボーイ隊」その部門に所属するスカウトを「ボーイスカウト」と呼ぶように、ボーイ隊の活動は、ボーイスカウト活動の根幹に当たります。ボーイ隊に上進するときに「ちかいをたてる」のも、ボーイ隊以上が同じベージュ色の制服になるのも、ボーイ隊こそが、創始者ベーデン=パウエルが最初に目指した「よりよい社会人となるべく導く」思春期の少年少女たちだからです。カブ隊やビーバー隊は、ボーイスカウトになるための準備期間と言えます。

ボーイ隊の活動の大きな特徴は「班制度」と「進歩制度」です。「班制度」は、6～8名ごとに班を作り、約束(規律)を大切に、相互に協力しあい、それぞれのスカウトが役務分担によって自分の担当についてリーダーシップを発揮する機会が得られるように編成しています。「社会性」を体験し、学ぶ機会となっています。「進歩制度」は、その年代で獲得してほしい知識・技能・心構えを必須要素とし、個々のスカウトが興味を持ったり関心のあることを選択要素として、自らが課題(目標)に対して達成計画を立て、自修して、それを乗り越えるという「自発活動」によるものです。そしてその挑戦を応援するように、目標を達成するそれぞれの段階で獲得できるバッジが用意されています。各自が獲得したバッジを制服に着け可視化することで、バッジ獲得に対する奨励、称賛になります。この2つの制度はカブ隊やビーバー隊の活動においても、年代に合わせた形で導入されています。